

■ 土屋さんのクラスでは、興味を持ったことについて調べ、まとめることになりました。土屋さんは、けい帯電話と公衆電話について調べました。次の【土屋さんのメモ】、【資料】、【土屋さんがまとめた内容】を見て、あとの問いに答えなさい。

【土屋さんのメモ】

	特 徴
A	<ul style="list-style-type: none"> いつでもどこからでもかけられる。 みんなが持っているわけではない。 災害が発生したとき、つながりにくくなるおそれがある。
B	<ul style="list-style-type: none"> 見かけることが少なくなった。 小学生の約85%が使用したことがない。(NTT 東日本調べ) 災害が発生したとき、多くの人が利用する。

【資料】 公衆電話設置数・けい帯電話加入数の移り変わり (単位: 万件)

	1990年	2000年	2010年	2016年
公衆電話	83	71	25	16
けい帯電話	87	6094	11954	16344

(2018/19年版「日本国勢図会」による。)

【土屋さんが調べてまとめた内容】

けい帯電話と公衆電話について

1年3組 土屋美和

けい帯電話は、いつでもどこでも電話をかけることができるのでとても便利です。しかし、誰もがけい帯電話を持っているとは限りませんし、けい帯電話を持っていても電池がなくなってしまうと電話をすることができません。このようなときに公衆電話があると便利だと私は思います。

しかし最近では、街中で公衆電話を見かけることは少なくなりました。上の【資料】は、電話の加入数・設置数の移り変わりを示したものです。この【資料】から、ということが読み取れます。この傾向が続くと、困ったことが起こる可能性もあります。

たとえば、震災などの大きな災害が発生したとき、けい帯電話がつながりにくくなり、家庭などに連絡を取りたくてもすぐにとれなかったということがありました。一方、公衆電話は、多くの人が連絡をとるために、長時間、列に並んで自分の順番がくるのを待っていましたが、連絡はとれました。

これらのことから、公衆電話が、けい帯電話を持っていない人や非常時に必要なのだと思いました。

一 【土屋さんのメモ】のA、Bには、それぞれ何が当てはまりますか。
電話の種類をそれぞれ書きなさい。

B	A

二 【土屋さんが調べてまとめた内容】に当てはまるものを、次の1から

- 4までの中から一つ選びなさい。
- 1 「だ・である」調で書いている。
- 2 長所や短所に関して、具体例を挙げて説明している。
- 3 これから電話がどのように変化するか推測している。
- 4 土屋さんはどちらをより必要としているのか意見を述べている。

三 【土屋さんが調べてまとめた内容】の の部分には、【資料】から読み取った内容が当てはまります。「けい帯電話」「公衆電話」の二つの言葉を使って、 に入る適切な内容を書きなさい。

この【資料】から、

ことが読み取れます。

四 土屋さんは、けい帯電話と公衆電話について、さらに調べることにし、アンケート調査を行おうと考えています。

あなたなら、電話に関するアンケート調査において、どのような質問をしますか。また、なぜその質問をしたと思ったのですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 〈アンケート調査で行う質問〉には、「けい帯電話」「公衆電話」に関する質問を書くこと。どちらか一方に関する質問でもよいし、両方に関する質問でもよい。

条件2 〈質問をする理由〉には、なぜその質問をしたのかを明らかにして書くこと。

〈アンケート調査で行う質問〉

〈質問をする理由〉
